

太田地区

第2期計画の振り返り（平成22～27年度）

☆幸福！満腹！声かけ！太田地区！

地域での孤立化を防止するために・・・

【成果】

閉じこもりがちな高齢者や子育て中の親等への地域行事への参加の働きかけが進み、参加者増につながりました。

- ・南太田ふれあいサロンでは他地域からも参加者があり幅の広い交流となりました。
- ・三春台ふれあいサロンでは近隣の保育園との交流を持つことができ、異世代交流も進みました。お花見やハロウィンも好評で多くの参加者がありました。
- ・子育てサロンブーブークラブでは新米ママ、赤ちゃんの笑顔に励まされて参加者だけでなくスタッフも楽しみながら交流できました。ブーブークラブが地域で定着してきていることを実感しています。



三春台ふれあいサロン



ブーブークラブ

【今後に向けて】

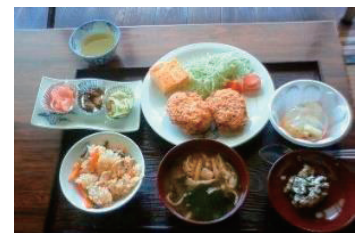
- ・参加対象者への周知を工夫しながら、開かれたサロンを継続します。
- ・参加者のためになる講座(講話)などを関係機関と協力して開催します。

お互いに顔見知りになって、挨拶やおしゃべりができる仲間を増やすために・・・

【成果】

食事会やサロンの参加者同士や担い手との交流が進み、気軽に話せる関係が出来ました。

- ・食事会を通して参加者、担い手が共に楽しめる場を共有することができ、継続した参加につながりました。
- ・地域ケアプラザの協力のもと、食後の企画も楽しく、役に立つ内容となり、参加者増に寄与しました。
- ・南太田ふれあいサロンでは年1回の外出（お出かけプログラム）や通常時のプログラムも充実し、参加者同士でも楽しめるものとなりました。



食事会

【今後に向けて】

- ・ 食事会への参加が楽しみになるような企画を工夫して実施していきます。
- ・ 担い手確保のため、関係機関へ協力を依頼するとともに、定着にむけた取組を進めます。

緊急時や災害時の支援のために・・・

【成果】

- ・ 要援護者名簿の必要性の理解が少しずつ進み、自助・共助の意識も地域に浸透しました。
- ・ 要援護者名簿を地区ごとに作成して、分かりやすい形としました。また、年2回名簿を更新するために、関係機関、隣近所からの情報把握も少しずつ進みました。
- ・ 地域行事で継続して防災、災害に対する自助意識の啓発を行いました。
- ・ 太田東部地区と協力してあんしんカードを作成し、民生委員等を通じ配付しました。

携帯あんしんカード

【今後に向けて】

- ・ 要援護者の情報把握を進めるため、関係機関との連携強化や近隣住民への協力依頼等を進めます。
- ・ 引き続き、地域行事等で防災、災害に対する自助・共助の意識を高めていきます。

第3期計画（平成28～32年度）

地域の特徴

（データ＝平成26年9月末日現在）

平戸桜木道路を主軸とするマンションが多く立地する低地と、戸建て住宅地からなる丘陵地で形成されています。

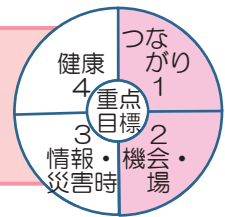
地区人口＝約11,600人
 年少人口比率＝9.5%
 高齢人口比率＝25.6%
 総世帯数＝約6,300世帯
 平均世帯規模＝約1.8人



幸福！満腹！声かけ！太田地区！

地域での孤立化を防止するために・・・

5年後の将来像：地域に気軽に参加できる交流活動があり、閉じこもり高齢者等がない地域となっている。

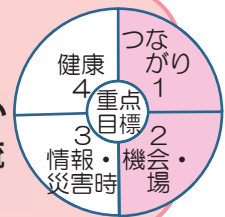


具体的な取組等

- ・民生委員・友愛活動員・保健活動推進員等の協力を得て、運動会、お祭り、敬老会、新年会など地域の行事、食事会、サロン、地域ケアプラザの事業などへの参加を呼び掛けます。
- ・南太田ふれあいサロン、三春台ふれあいサロン、子育てサロンブービーくらぶ、三春会、ちとせ会、夢見会を継続して開催します。
- ・多くの住民が関わる活動とするため、地域住民の趣味や特技を活かし、担い手として活動に参加できる機会を作ります。

お互いに顔見知りになって、挨拶やおしゃべりができる仲間を増やすために・・・

5年後の将来像：食事会や行事などを通じて参加者同士の交流や担い手同士の交流、参加者と担い手の世代を超えた交流が進み、気軽に声を掛けあえる関係が出来ている。

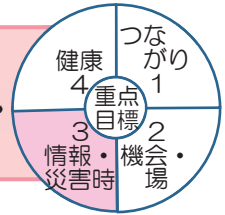


具体的な取組等

- ・食事会やサロンに継続して参加してもらうために、地区内にある食事会・サロン同士の情報交換等を実施し、飽きさせない工夫が出来るよう取り組みます。
- ・若い世代の担い手を増やすため、町内会や婦人部の協力を得ます。
- ・担い手の定着を図るために、地域ケアプラザと協力して、参加者と一緒に楽しめる企画を実施します。
- ・青少年指導員と地区社協で協力し、学校行事、キッズクラブのプログラム等を通じ、若い世代との交流を進めます。
- ・保護司会、更生保護女性会と協力し、社会を明るくする運動のミニ集会等を通じ、安心・安全なまちづくりへの啓発活動を続けます。

緊急時や災害時に助け合うために・・・

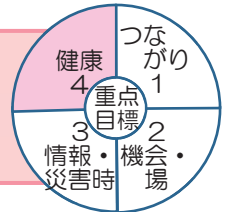
5年後の将来像：町内会、地区社協への理解・関心が高まり、自助・共助の意識が浸透している。

**具体的な取組等**

- ・「声かけ運動」「挨拶運動」を継続し、顔の見える関係づくりを進めます。
- ・地区内の一時避難場所などを子どもや高齢者にも分かりやすい形で整理し、地区社協広報紙等で情報を周知・共有します。
- ・引き続き地区毎の要援護者名簿を作成するとともに、民生・児童委員、友愛活動員、保健活動推進員、地域ケアプラザ、介護保険事業所等と連携を進め、情報の把握に努めます。
- ・要援護者名簿の必要性の理解促進に取り組むとともに、近隣住民からの要援護者情報の把握も進めます。
- ・地区の防犯担当や家庭防災員にも地区社協として協力し、防犯パトロールやいつ来てもおかしくない災害に向けて安心・安全なまちづくりに努めます。

住み慣れた地域で、健康な生活を続けるために・・・

5年後の将来像：世代を超えて、身近な地域で健康づくりに関する活動への取組が進んでいる。

**具体的な取組等**

- ・総合型地域スポーツクラブ※等と連携し、小学生から参加できる走り方教室やヒップホップダンス教室、また、成人向けのエアロダンス、太極拳など楽しく運動できる企画を実施します。
- ・保健活動推進員を中心に実施する健康に関する測定会やウォーキングの機会をつくりPRします。
- ・食事会やふれあいサロンの機会を利用し、認知症予防、介護予防など、健康について学びの場を提供するとともにボランティアインストラクターによる口、指、または手足を動かす体操などを取り入れます。

※総合型地域スポーツクラブとは・・・

地域住民一人ひとりが主役となり、自主運営し、いつでも、誰でも、どこでも、いつまでも様々なスポーツ・文化活動を楽しむことのできる地域密着型クラブのこと。